

旧ユーゴの紛争被災民救援

NGOが医師ら派遣

岡山などの
6 団 体

紛争の続く旧ユーゴスラビアの被災民を救援するため、アジア医師連絡協議会（事務局・岡山市）、国際救援行動委員会（同・東京都渋谷区）など日本のNGO（非政府組織）六団体が来月から半年間、現地

に医師らを送ることを決めた。二十一日、岡山市内で発表した。日本のNGOの同地域での本格的な援助活動は初めて。

対象地域はクロアチアのザグレブなど四カ所とセルビアのベオグラード。現地

総括事務所はザグレブに置き、国連や現地政府と連携を取りながら、医薬品や文房具の供与▽織物や建設などの職業訓練▽子ども向け情操教育——などを行う。予算は約四億円。

物資搬送、子どもの遊具施設の建設などに大学生らのボランティアも短期派遣し、期間中は常時約二十人、延べ約百人が現地で活動する。